

埼玉大学 教育実践Forum2019



明日を拓く学びのイノベーション 一人一人の児童生徒に応じた指導の改善

日時：2019年 **2月16日(土)**

会場：埼玉大学全学講義棟1号館，教育学部A棟ほか

埼玉大学教育学部では、2008年度より教育学部と附属学校との連携により附属学校フォーラムを開催してきました。この附属学校フォーラムでは埼玉県教育委員会、さいたま市教育委員会のご支援をいただき、附属4校園における先進的な授業実践について広く県内外に情報発信してきました。

そうした中、2016年度に設置された教職大学院が昨春第1期生を送り出しました。そこで教職大学院の教育研究、実践研究の成果を発信するために、附属学校フォーラムを発展させ、埼玉大学教育実践フォーラムとして2018年3月にその初回を行いました。

教育実践フォーラムでは、教育学部各研究室、附属学校園、教職大学院が、学外の先生方を交えて研究を発表し合い、県内外の教育関係者の皆様と交流します。前回にもまして実りある議論が期待されます。

時程（予定）10:30—11:45 教職大学院M1発表（教育学部A棟）

13:00 開会（全学講義棟1号館）

13:00—13:10 主催者挨拶，来賓挨拶

13:10—14:00 記念講演 文部科学省視学官 濱野 清 氏

「これからの学校教育に求められる授業改善」

14:20—15:20 教職大学院M2発表（教育学部A棟）

附属学校園提案

15:35—16:55 ラウンドテーブル 各教科及び課題12室

参加費無料（事前申込み不要）

主催：埼玉大学

後援：埼玉県教育委員会，さいたま市教育委員会

埼玉県公立小学校校長会，埼玉県中学校長会，さいたま市立小学校校長会，さいたま市中学校長会

問合せ先：埼玉大学教育学部 埼玉県さいたま市桜区下大久保255 電話(048)858-3142

2019.01.27

埼玉大学教育実践 Forum2019

明日を拓く学びのイノベーション
一人一人の児童生徒に応じた指導の改善

2019 年 2 月 16 日

時 程

- 10:30－11:45 教職大学院課題研究発表（教職実践専攻 1 年次）
- 13:00－13:10 開会挨拶
- 13:10－14:00 記念講演「これからの学校教育に求められる授業改善」
文部科学省初等中等教育局視学官 濱野 清 氏
- 14:00－14:20 休憩（移動）
- 14:20－15:20 教職大学院課題研究発表（教職実践専攻 2 年次）
附属学校園提案
- 15:20－15:35 休憩
- 15:35－16:55 ラウンドテーブル
- 16:55 閉会

記念講演

13:10－14:00 全学講義棟 1 号館 301 教室

これからの学校教育に求められる授業改善

講師 文部科学省初等中等教育局視学官・教育課程課教科調査官
国立教育政策研究所教育課程研究センター研究開発部教育課程調査官
濱野 清 氏

附属学校園提案

14:20－15:20 教育学部 A 棟 324 教室

司会
発表

教育学部	上園竜之介准教授
教育学部附属幼稚園	小谷宜路教諭
教育学部附属小学校	矢島弘一教諭
教育学部附属中学校	二瓶 剛 教諭
教育学部附属特別支援学校	田上智明教諭

ラウンドテーブル

15:35－16:55 教育学部A棟，G棟，コモ1号館

国語 A 2 1 2

○テーマ「『主体的・対話的で深い学び』に向けた授業づくり～若手教員の実践に学ぶ～」

実践報告

所沢市立若松小学校 津村恭平教諭

和光市立下新倉小学校 小野寺純也教諭

埼玉県立狭山工業高等学校 藤倉遼介教諭

埼玉県立入間向陽高等学校 松永千希教諭

討論

教育学部 本橋幸康准教授

教育学部附属小学校 吉野竜一教諭

教育学部附属中学校 甘楽裕貴教諭

算数・数学 A 2 1 3

○テーマ

実践報告1 児童が自ら創る算数・数学の授業づくりー算数科の学びの過程としての数学的活動の充実ー

さいたま市立大砂土小学校 天野翔太先生

実践報告2 主体的に学ぶ生徒の育成を主眼とした数学的活動の実践

羽生市立西中学校 新井充貴先生

実践報告3 主体的・対話的で深い学びを通して身に付ける学びに向かう力の育成を目指す指導法

川口市立青木中学校 穂谷野陽一先生

研究協議

教育学部 二宮裕之教授・松寄昭雄准教授

理科 G 1 0 9

○テーマ「理科の学びを向上させるイノベーション」

司会 教育学部 小倉 康 教授

1. 発表「ポスターによる卒論や修論等の研究紹介」教育学部理科分野学生・大学院生ほか

2. 講演「地学教室からの情報提供ー風型二十四面体結晶を使った理数教材」

教育学部 岡本和明教授

3. 発表「附属小中学校の実践発表・教材紹介」

教育学部附属小中学校理科部

終了後 参加者と交流

生活と総合 A 3 2 2

○テーマ「子どもの見取りから小学校低学年教育を考えるー生活科の実践をもとにー」

登壇者

教育学部 宇佐見香代教授

教育学部附属小学校 若村健一教諭

教育学部 岩川直樹教授

図画工作・美術 コモ1号館5階

○定期的に「うらわ美術館」で開催される図画工作科・美術科の授業内容を紹介する展覧会について、その意義と可能性についての討議を行う。

教育学部芸術講座美術分野教員

保健体育 A 2 1 0

○新学習指導要領を踏まえた体育・保健体育学習の具現化に向けてー平成 31 年度第 58 回全国学校体育研究大会埼玉大会への取組ー

挨拶・趣旨説明・メンバー紹介

教育学部 有川秀之教授

全体会

教育学部 石川泰成准教授

・第 58 回全国学校体育研究大会埼玉大会概要及び研究主題解説 森田研究部長

・附属学校園の実践発表

教育学部附属小学校 首藤教諭

教育学部附属中学校教諭

分科会（小・中部会）

教育学部附属小学校浅間教諭・教育学部附属中学校教諭

技術・情報 A 3 2 5

○テーマ「新学習指導要領における授業改善の在り方と具体的な指導事例の提案」

司会・進行

教育学部技術分野 山本利一教授

1 自己紹介と現在の教育課題（新学習指導要領における関心・不安事項の確認で）

2 提案内容

①「D 情報に関する技術（2）」 ネットワーク・双方向性の教材と指導過程の提案

教育学部附属中学校 木村 僚 教諭

②情報モラル・セキュリティの実態と教材の提案 群馬大学教育学部 小熊良一講師

③小学校におけるプログラミング指導の教材と実践事例（例えば、算数、理科など）

教育学部

山本利一教授

3 新しい授業づくりと教材・教具

AI を活用した対話型学習教材「ロボコット」と実践事例の提案

簡易言語を活用したプログラミング教材「Swift」と実践事例の提案

3D-CAD「作ってみよう」を活用したものづくり学習の提案

IoT を学習する教材「Mesh」と実践事例の提案

4 体験学習・演習

実際に、提案した教材・教具の使い方と授業での活用方法

興味のある教材のブースに集まり活用

5 指導助言者

埼玉大学教育学部 石田康幸名誉教授

大妻女子大学 本郷 健教授

佐賀大学教育学部 角 和博教授

日本工業大学 本村猛典教授

茨城大学教育学部 工藤雄司教授

群馬大学教育学部 小熊良一講師

家庭 A 1 1 3

○テーマ「家庭科教師の経験を語り合う：明日の授業のために」

ワークショップ形式で行います。初任時と現在の授業の違いをワークシートを用いてリフレクションし、グループディスカッションを通して明日からの家庭科の授業づくりについて語り合います。

教育学部生活創造講座家庭科分野教員

ファシリテーター 教育学部 河村美穂教授

英語 A 2 0 1

○本年度の埼玉大学教育学部附属中学校研究協議会（5月30日）で公開された授業を、参会のみなさまと一緒にしながら良い英語授業について考えたい。

授業者 教育学部附属中学校 蓬澤 守 教諭

コメンテーター 教育学部附属中学校 高橋太一教諭

教育学部附属中学校 前田紗矢香教諭

教育学部 及川 賢 教授

教育相談 A 4 2 6

○テーマ「自信をもって悩む教育相談をするために（2）」

企画 教職大学院専攻長 沢崎俊之教授

司会 教育学部附属中学校 長濱美智子養護教諭

報告 北本市教育委員会 内田浩子先生（平成25年度大学院教育学研究科修了）

埼玉県立豊岡高等学校 黒田 哲先生（平成29年度長期研修生）

東京都葛飾区立常磐中学校 加藤晶子先生（平成29年度大学院教育学研究科修了，平成27年30年教師のためのアサーショントレーニング入門編・実習編修了）

乳幼児 A 2 1 4

○テーマ「子どもと共に創る保育実践」

報告1 「“集まり”が“会議”になるとー5歳児の話し合い活動から保育を考えるー」

東京都文京区立お茶の水女子大学こども園保育士 大森杏菜先生

（2015年度教育学部乳幼児教育専修卒業）

報告2 「幼稚園における特別支援教育ー医療的ケアや配慮を要する子どもの受け入れについてー」 東京都豊島区立西巢鴨幼稚園長 高橋順子先生

（2005年度大学院教育学研究科学校教育専攻幼児教育分野修了）

学び合う学校づくりの県内連携 A 4 2 7

○テーマ「“学び合う学校”づくりにとりくむ学校相互と大学との県内連携」

1 学び合う学校づくり実践報告

「校内研究会を核とした学び合う学校づくり」（仮題）

寄居町立男衾中学校 内田徳和先生

2 グループ討議

3 コメンテーターによるコメントならびに鼎談

（3人の先生方から、コメントを含めて鼎談の形で、討論いただきます。）

共栄大学 和井田節子先生

一橋大学 草川剛人先生

玉川大学大学院 代島克信先生

4 グループ討議

（2019年1月27日時点）

教育実践専攻（教職大学院）1年次発表

10:30－11:45（一人発表12分 質疑3分 残り時間は全体で質疑応答）

場所	開始時間	所属コース	学籍番号	氏名	発表題目
第1室 A棟2階 201教室	10:30	教育実践力 高度化コース	18AD002	石田 真一	学力向上を目指した小中一貫教育の研究 ～小、中教員が相互理解を深め、児童生徒の学力の伸びを省察することを通して～
	10:45	教育実践力 高度化コース	18AD008	齊藤 明彦	キャリア教育を充実させる教育課程の実現に向けた課題と協働体制の構築に関する研究
	11:00	教育実践力 高度化コース	18AD012	田中 康太郎	業務の偏りを改善し、教員が力を発揮する学校づくり －「校務分掌別業務集中期一覧表」の作成・活用を通して－
	11:15	教育実践力 高度化コース	18AD015	前島 利彦	児童の自己指導能力の育成を目指した若手教員の指導力向上に関する研究 －「PMメソッド」及び「Q-U」の分析を通して－
第2室 A棟2階 203教室	10:30	教育実践力 高度化コース	18AD001	相澤 健太郎	即興的に伝え合う力の向上を目指した授業の考察 －英語授業での「話すこと」の教育効果について－
	10:45	教育実践力 高度化コース	18AD007	久保 和之	学級担任が指導しやすい小学校外国語・外国語活動の授業展開と効率的な職員研修の研究 －帯活動を活用した授業展開の方法と指導力・英語力向上をねらった職員研修の研究－
	11:00	教育実践力 高度化コース	18AD004	小野寺 涼	生徒の多面的・多角的に考察する力を育む社会科授業開発 －歴史を解釈する学習活動を通して－
	11:15	教育実践力 高度化コース	18AD005	金成 泰平	「考え・議論する」道德の授業づくりの工夫 －考えを深めるための活動を通して－
第3室 A棟2階 204教室	10:30	教育実践力 高度化コース	18AD010	鈴木 勝也	子どもの自己形成を支える文学の読み合い
	10:45	教育実践力 高度化コース	18AD016	和田 亜幾	聴き合い、学び合う児童を育む教育実践研究 －子どもの学びの事実から学ぶ・国語科授業を中心に－
	11:00	教育実践力 高度化コース	18AD011	鈴木 孝典	認知科学的アプローチによる教科横断型授業の設計 －国語科と他教科をつなぐ－
第4室 A棟2階 210教室	10:30	教育実践力 高度化コース	18AD003	内田 敦也	コミュニケーションを通して、生徒の自己肯定感を高める数学の授業実践に関する研究
	10:45	教育実践力 高度化コース	18AD006	川井 勝登	ネットワークを利用した双方向性のあるプログラミング学習の提案
	11:00	教育実践力 高度化コース	18AD009	在間 拓幹	情報セキュリティ学習を支援するe-Learningコンテンツの開発と授業実践
	11:15	教育実践力 高度化コース	18AD013	中野 隆大	中学校理科における協同的・探究的な学びの実践的探求 －科学実験を中心に－
第5室 A棟2階 211教室	10:30	発達臨床支援 高度化コース	18AD101	赤松 舜介	中学校における基本的自尊感情を育む理論的手法 －共有体験とアサーション・トレーニングを通して－
	10:45	発達臨床支援 高度化コース	18AD102	越智 匠	小学校における自尊感情を高めるための人権教育の模索 －アサーション権に着目して－
	11:00	発達臨床支援 高度化コース	18AD104	黒澤 あゆみ	応用行動分析学を用いた子どもへの支援方法 －児童生徒の行動理解に向けて－
	11:15	発達臨床支援 高度化コース	18AD108	山内 明美	学校コンサルテーションから考えるセンター的機能のあり方 －地域の主体的・組織的課題解決力向上を目指して－
第6室A棟2 階 212教室	10:30	発達臨床支援 高度化コース	18AD103	菅 拓哉	通常学級における特別支援教育の必要性 －中学校の発達障害・情緒障害通級指導教室について－
	10:45	発達臨床支援 高度化コース	18AD105	田中 達也	通常学級におけるインクルーシブ教育の推進に向けて －人的環境のユニバーサルデザイン化の観点から－
	11:00	発達臨床支援 高度化コース	18AD106	野口 千慧	教科別の指導と各教科等を合わせた指導の関連に関する一考察 －体育的要素を含む指導に着目して－
	11:15	発達臨床支援 高度化コース	18AD107	堀切 雅子	通常の学級における個に応じた教育実践の研究 －特別支援教育の視点をふまえた指導－

教育実践専攻（教職大学院）2年次発表

14:20－15:20（一人発表15分 質疑5分 残り時間は全体の質疑応答）

場所	開始時間	所属コース	学籍番号	氏名	発表題目
第1室 A棟2階 201教室	14:20	教育実践力 高度化コース	17AD002	石山 勉	学力向上を目指した学校組織マネジメントの研究 －求められる資質・能力を育成する学び合い学習を通して－
	14:40	教育実践力 高度化コース	17AD005	神山 稔	学習高度化を目指した学校組織マネジメントの研究 －学力向上に向けて取り組む組織の同僚性の構築に視点を当てて－
第2室 A棟2階 203教室	14:20	教育実践力 高度化コース	17AD004	加藤 雄大	教員の資質能力の向上を図る人材育成の在り方 －OJTを通した教員の授業力向上－
	14:40	教育実践力 高度化コース	17AD010	永島 慎嗣	チームとしての学校づくりに向けての実践的研究 －同僚性の構築を軸とした教職員一人ひとりが力を発揮できる環境整備を通して－
第3室 A棟2階 204教室	14:20	教育実践力 高度化コース	17AD001	石田 典子	スタートカリキュラムのあり方についての考察 －幼児期の育ちと児童期の学びをつなぐカリキュラムの作成に向けて－
	14:40	教育実践力 高度化コース	17AD011	中野 大地	子どもの思考力を育成する社会科資料活用 －複数の資料提示から情報を比較・分析・類推・統合する思考活動－
	15:00	教育実践力 高度化コース	17AD014	藤田 莉穂	系統的な古典学習指導の実践的研究 －「比べ読み」を中心に－
第4室 A棟2階 210教室	14:20	教育実践力 高度化コース	17AD007	菅原 悠平	ジェスチャーによるプログラム作成過程の分析と学校教育への応用
	14:40	教育実践力 高度化コース	17AD008	鈴木 航平	生徒の思考過程の可視化を通した指導の改善に関する実践研究
	15:00	教育実践力 高度化コース	17AD012	中村 憲昭	ジグソー法の数学科の授業内における位置付け
第5室 A棟2階 211教室	14:20	教育実践力 高度化コース	17AD003	大久保 優子	熟達者教師の理科授業実践を支える知識の抽出と初心者教師の実践への適用
	14:40	教育実践力 高度化コース	17AD006	斉藤 祐貴	「自律性支援」と「構造の提供」に着目した学習意欲を高める中学校理科授業モデルの設計とその有効性の検討
	15:00	教育実践力 高度化コース	17AD013	服部 翼	保健体育の授業におけるICTの活用による生徒の思考力・表現力の向上
第6室 A棟2階 212教室	14:20	教育実践力 高度化コース	17AD009	清野 玄太	空間認識が苦手な児童に対する指導の工夫 －第4学年「月や星の動き」での実践－
	14:40	教育実践力 高度化コース	17AD015	古谷 由仁穂	生徒の科学的表現力を育む理科指導の工夫 －実験レポート作成の指導を中心に－
	15:00	発達臨床支援 高度化コース	17AD107	山本 裕美子	生徒の多様性を認め合い自尊感情を育む教育実践の研究 －心理教育と特別支援教育の視点から－
第7室 A棟2階 213教室	14:20	発達臨床支援 高度化コース	17AD101	佐藤 理絵	共生社会を支える交流及び共同学習の在り方 －共に学び、共に伸びるために、中学校における新たな特別支援教育を目指して－
	14:40	発達臨床支援 高度化コース	17AD102	杉田 明浩	特別支援教育を生かした学校・学級づくり －中学校における生徒理解を深めるために特別支援教育をどのように実践につなげるか－
	15:00	発達臨床支援 高度化コース	17AD104	長 千晶	通常の学級に在籍する生徒を対象としたインクルーシブ教育のあり方 －中学校発達障害・情緒障害通級指導教室との連携を中心に－
第8室 A棟2階 214教室	14:20	発達臨床支援 高度化コース	17AD103	関口 昌子	知的障害特別支援学校の児童生徒への発達段階に応じた指導の研究 －表象機能の発達段階に適した指導とその共通理解－
	14:40	発達臨床支援 高度化コース	17AD105	蜂須 麻矢	知的障害を併せ有する自閉症児へのソーシャルスキルトレーニングについて －コミュニケーションスキル獲得期の児童へのフィードバック－
	15:00	発達臨床支援 高度化コース	17AD106	柳澤 真美	知的障害特別支援学校高等部における作業学習の授業改善に関する研究 －生徒の主体性と障害の状態や特性を踏まえた指導－